

連合山形ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会
山形県連合会

〒990-0044

山形市木の実町12-37 大手門パルズ内

☎ 023-625-0555 FAX. 023-624-7661

メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp

発行人/船山 整 編集人/佐藤美和



連合山形HP

組織内部討議資料 No.180 2025年9月29日

ホームページアドレス: <https://www.rengo-yamagata.jp/>

「誰もが時間給1,000円」実現!!

山形県最低賃金 1,032円 77円UP

発効日: 12月23日(火)

本年度は金額を審議する専門部会が8回にも及び、結審が9月にずれ込む異例の年となりました。中央審議会より64円の目安が示されましたが、山形地方最低賃金審議会は、審議の結果、目安+13円の77円UPとなる時間給1,032円(改定率8.06%)で結審しました。12月23日(火)より上げられ、連合がめざす「誰もが時間給1,000円」を全国都道府県で実現することが出来ました。

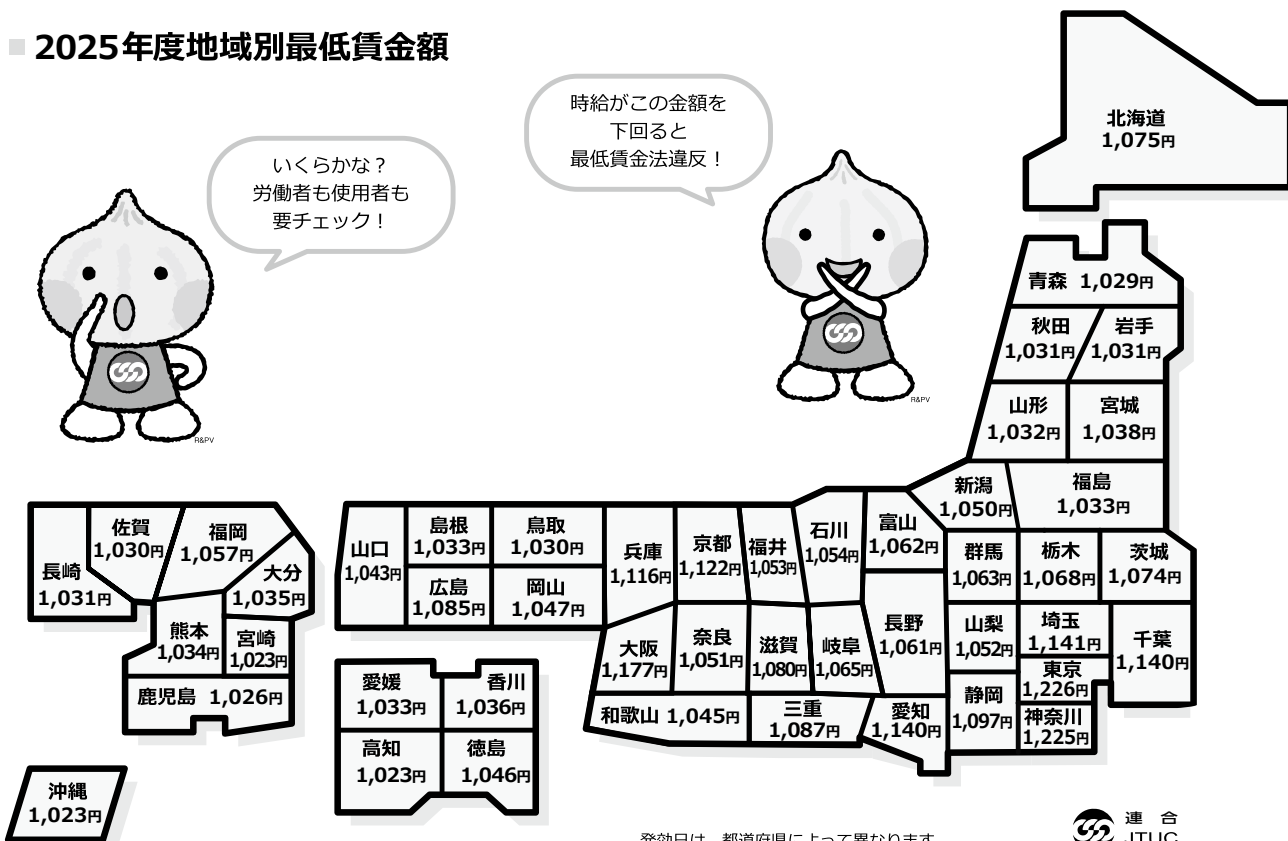
引き続き賃上げや、最低賃金の引き上げに対する社会的機運の定着と波及を推進するとともに、中小・零細企業の労務費確保のため、県や国に対し効果的な支援策を求めています。

■ 2025年度地域別最低賃金額



いくらかな?
労働者も使用者も
要チェック!

時給がこの金額を
下回ると
最低賃金法違反!



発効日は、都道府県によって異なります。



2025県知事要請

9月11日（木）、山形県庁「知事室」において、「2026年度山形県予算編成に向けた連合山形政策制度要請」を船山会長から吉村美栄子山形県知事に手交し、要請内容の「やまがた未来共創会議」について回答いただき、意見交換を行いました。要請内容は5分野計27項目あり、10月24日に連合山形の要請内容に対して担当部署との意見交換を行います。



要請書を手交する船山会長（右）と
受取る吉村県知事（左）

〈出席者〉

【連合山形】 船山会長、柿崎副会長、遠藤副会長、遠藤副事務局長、小川副事務局長、佐藤部長、安孫子山形地協事務局長

【山形県】 吉村県知事、みらい企画創造部太田次長・小林室長、産業労働部松田室長

〈要請項目一覧〉

「2026年度山形県予算編成」に向けた連合山形要請

I. 雇用・労働政策

1. 長時間労働の是正について
2. 山形県における労働力・人材の確保について
3. 誰もが仕事と育児・介護を両立するための環境づくりについて
4. 「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」について
5. 能力開発機会の確保による雇用の質の向上に向けて
6. 障がい者雇用について
7. あらゆるハラスメントの根絶に向けて

II. 行政改革政策

1. やまがた未来共創会議について
2. 財政の確立について
3. 防災・減災対策の強化と災害教訓に学ぶ体制づくりについて
4. 公共調達における「元請下請関係の適正化指導」の強化について
5. 選挙における投票促進について
6. 安全で安定した水道水の確保について
7. 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

III. 産業・環境政策

1. 「パートナーシップ構築宣言」による価格転嫁の推進について
2. 「やまがた カーボンニュートラル」をめざして
3. 経済・産業及び各自治体におけるデジタル化への積極的な支援について
4. 山形県の公共交通機関の維持・促進について
5. 大型クルーズ船受け入れについて

IV. 社会保障政策

1. 安心・安全な医療・介護の提供について
2. 介護労働者、保育士労働者の人材確保について
3. 「やまがた子育て応援プラン」の着実な実施と子どもの貧困対策について
4. 保育園や幼稚園における加配制度の充実について

V. 教育政策

1. 教育機会の均等実現に向けて
2. 子どもの命を守る環境の整備について
3. 不登校対策について
4. 学習環境の多様化について

山形県退職者連合と山形県との政策懇談会を開催

9月12日（金）山形県退職者連合は、去る6月9日に県に対し「2025年度山形県への政策要請」を行ったことに伴い、県各部署からの要請に対する回答を基にした懇談会を、あこや会館「大ホール」にて開催しました。懇談会には吉村知事も出席し、「独居高齢者の孤独・孤立対策の取り組み」についての回答をいただき、出席者全体で要請内容に対する意見交換を行いました。

【意見交換内容】

- 独居高齢者の孤独・孤立対策の取り組みについて
- 高齢が安心して暮らせる居住の場の整備支援について
- 高齢者の移動支援事業の拡充について
- 特殊詐欺などから高齢者被害をなくす取り組み強化について
- 「資格確認書」利用の周知について
- 職場における高齢者への安全衛生対策について
- 山形県立河北病院と寒河江市立病院の統合について



挨拶する三澤県退連会長



回答する吉村県知事

〈出席者〉

【山形県】 吉村県知事、川井高齢支援課課長、他各所管部局の課長および担当者8人

【山形県退連】 三澤会長、小野副会長、秋葉副会長、江口副会長、前田副会長、柏木事務局長、佐藤事務局次長、小川事務局次長、高橋県議会議員他幹事8人

「2025山形県退職者連合集会」の開催

9月10日（水）大手門パルズ「霞城」を会場に開催し、**「経済最優先の政治から生活最優先の政治に変え、生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！」**を集会アピールとして提起しました。退職者としての今後の組合活動については、山形県退職者連合会に結集する有志相互の連帯を誓い合い、組織の拡大・強化について決意を新たにしました。また、集会の第2部として山形県消費者生活センターの鈴木朗子氏を講師に迎え、「高めよう！消費者力、見守り力」をテーマに学習会が開催され、



集会には120名が参加



寸劇を交えた学習会

役員の熱演による寸劇を交えた「強引な訪問購入」への対応や、実例をもとにした「クーリング・オフ」への対応など、注意喚起・啓発をはかりました。

連合山形「第38回定期大会」

◇とき：11月5日（水）13：00～17：00 ◇ところ：大手門パルズ 3F「霞城」

2025平和行動

～沖縄・広島・長崎・根室～



連合本部主催の平和4行動（沖縄・広島・長崎・根室）が6月～9月で行われ、連合山形から総勢20人の参加がありました。今年は日本にとって戦後80年、日本固有の領土である北方四島が、旧ソビエト連邦によって不法占拠されてから80年の節目であり、戦争と平和の歴史を振り返り、平和の重要性を再確認する機会となりました。

沖縄

6月22日（日）～6月25日（水）

事務局含め5名参加

☆23日：平和オキナワ集会

☆24日：ピースウォーク（旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔／資料館、魂魄の塔、平和祈念公園／資料館など）国際通りを平和行進



自動車総連（山形トヨペット労組）高橋 英樹

今回、連合平和行動 in 沖縄に参加させていただき、今は平和に思える沖縄の地からは想像も出来ない悲惨な戦争があったこと、また平和がいかに大切なのかということを経験させていただきました。特にピースウォークで見学した旧海軍司令部壕やひめゆりの塔では、資料で見ただけでは決して感じる事の出来ない恐怖や苦しみ、まさに地獄のような出来事が現実起きていたのだということを感じることができ、二度と同じ過ちを繰り返してはいけないのだということを経験することができました。平和行動を通じて、悲劇しか生まない戦争を二度と起こることがないように、私たち一人ひとりが、何ができるかをしっかりと考え、平和を持続していく行動をしていきたいと思いました。



情報労連（NTT労組山形分会）大友 孝介

沖縄戦について、私は聞いたことがあるだけでした。知っているつもりで今回の平和行動に参加しましたが、聞いていただけ、ということを感じました。戦っていた人たちは切り捨てられてしまったも同然で人の命が軽すぎやしないか、と思いました。この平和行動を通して命の尊さ、平和という言葉の重さを学ぶことができました。まだ20代ながら、残りの時間を精一杯生きるために何をすべきか、考えることが出来た貴重な体験でした。

交通労連（富士フィルムB I 山形労組） 柏倉 勇希

今回の平和活動 in 沖縄に参加させていただき、戦争の歴史について学びました。私自身、人生で初めての沖縄でした。透き通るほどの綺麗な海や雲一つない青い空で、とても魅力的な県でした。ですが、そこからは想像もできないような悲惨な過去があること、平和というものがどれだけ幸せなことなのかを学びました。資料館で私よりも年下の子の日記を読み、とても心が痛くなったのを鮮明に覚えています。この戦争の悲惨さを未来へと語り継ぎ、今を生きる全員が、毎日の平和を噛みしめて生きなければならないと強く感じました。

酒田飽海地協 阿部 邦彦

ひめゆり平和祈念資料館では、壮絶な体験をそれぞれの言葉で語った内容が展示されていた。圧倒的戦力差の中、生き残れたかもしれない命まで失われてしまった。司令部は責任をとるつもりで自決したのだろうが、混乱の中、急に戦場に放り出され大きな犠牲を負うことになった人々のことを考えると悔しさや無責任さへの怒りで感情を揺り動かされた。戦争では理不尽が当たり前となってしまう。そうならないために学習と仲間づくりに取り組み、意見を言える環境を守り続けていこうと思う。

連合山形 遠藤あや子

平和行動 in 沖縄に参加して、戦争を許さない、戦争を語り継ぐ必要性などを学習することができた。また、いろんな産別から参加しているメンバーと交流を深めることができ、他産別の活動などを知る良い機会になった。今後も多くの方から参加してもらえようアピールしていきたい。

広島

8月4日（月）～8月6日（水）

事務局含め5名参加

☆5日：ピースウォーク（広島平和祈念公園）・
平和ヒロシマ集会・原爆死没者慰霊式

☆6日：広島平和祈念資料館

交通労連（富士フィルムB I 山形労組） 秋葉 大河

2025年8月4日（月）～6日（水）「2025平和行動 in 広島」に参加させていただきました。昨年の根室に引き続き今年は広島への参加となり内容の濃い3日間でした。平和祈念公園でのピースウォークは非常に暑い中、各セッションでのピースガイドの方々の非常にわかりやすい説明があり原爆の恐ろしさを体感しました。連合2025平和ヒロシマ集会では、広島県

原爆被害者団体協議会の切明千枝子様の講演で被爆体験の生々しい実情を聞き、悲しさと核兵器廃絶に向けた動きを加速させないと今後も同じようなことが世界で起こると感じております。そのために我々が出来ることは、実相の伝承と核廃絶に向けた活動を続けていく必要があると実感した次第です。広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典には、被爆80周年の節目であり沢山の方々が参列され初めての体験となり、改めて平和について考える機会となりました。3日間、暑さと歩数で体力的に大変でしたが、それを上回る体験ができたと思います。誠にありがとうございました。



情報労連（N T T労組山形分会）佐藤 正隆

連合山形の平和行動 in 広島に参加しました。平和祈念公園では現地ガイドより原爆ドームやモニュメントについて説明いただき、当時の甚大な被害と歴史を改めて知ることができました。平和ヒロシマ集会では被爆体験者の生の声を聴くことができ、当時の悲慘さと必死で生きたぬいた気持ちが伝わってきました。戦争の悲慘さを改めて知ることができた活動でした。世界が平和であり続けることを願い、今回学んだことを周囲の人や次世代へ伝えていきたいです。

自治労 高橋 司

連合広島のアテンドにより広島平和祈念公園をめぐるピースウォーク、海外の労働組合要人も参加した平和ヒロシマ集会での96歳の被爆者による体験談や高校生平和大使による活動報告を聞き、核兵器による新たな被害を出さないためにも、語り継ぐことの大切さを感じました。翌8月6日には「平和記念式典」を広島平和祈念公園内の広島国際会議場にて参加し、厳戒かつ厳かな雰囲気から唯一の被爆国である日本はもとより世界的な注目と関心を感じてきました。

山形地域協議会 安孫子健治

戦後80年が経過し、被爆者が高齢化しており、被爆証言を聞くことが難しくなっている。こうした中、連合2025平和ヒロシマ集会において最高齢の被爆者の方から話を聞くことができて良かった。そして、改めて原爆被害の悲慘さや恐ろしさを知り、平和の大切さを認識することができた。今回の平和行動 in 広島への参加を契機として、さまざまな機会を捉えて平和の尊さを訴えとともに、職場や地域での平和の取り組みをさらに積極的に進めていきたい。

北西村山地域協議会 高橋 忠勝

平和行動 in 広島に事務局として参加いたしました。今年は被爆から80年という節目の年に参加出来たこと、心から感謝いたします。ピースウォークでは、連合広島さんのガイドにより広島祈念公園内の慰霊碑の説明いただき、夕方からの平和集会では、95歳の語り部から生々しい体験談を聞くことができました。その後、平和祈念公園に戻り原爆死没者慰霊式で献花と献水を行いました。6日の平和記念式典では8時15分の鐘に合わせ黙とうを捧げました。改めて、同じ過ちを繰り返さないためにも核兵器廃絶を叫び続けることが大事であること、そして語り部が高齢化する中、「ノーモア ヒバクシャ」の決意をしっかりと後世に語り継がなければならないことを実感いたしました。

長崎

8月8日（金）～8月10日（日）

事務局含め5名参加

☆8日：平和ナガサキ集会

☆9日：長崎原爆資料館・ピースウォーク（原爆落下中心公園・長崎市平和公園）・万灯流し（雨天のため中止）

自動車総連（山形トヨタ自動車労組）佐藤 清高

2025平和行動 in 長崎に参加させていただき、ありがとうございました。原爆投下から80年が経過しましたが、改めて原爆の悲慘さと平和の尊さを深く感じました。原爆資料館や被爆遺構を見学し、当時の被害の大きさや人々の苦しみを実感し、被爆者の方の証言からは戦争がいかに人間の尊厳を奪うものだとすることを痛感しました。



同時に平和の大切さを次世代へと継承していくことの責任について考える機会となりました。今回の経験を職場や産別で共有し、核兵器廃絶と平和への取り組みに活かしていきたいと思います。

情報労連（NTT労組山形分会）高野 雄基

被爆者の方の体験談を通じて、戦争と原爆の悲惨さを改めて実感しました。家族や日常が一瞬で奪われた現実に胸が痛み、平和の尊さを深く心に刻みました。この記憶を風化させず、未来に語り継ぐ責任を強く感じました。命の重みと平和の大切さを学ぶ非常に貴重な時間でした。



交通労連（山形交通労組）渡邊 大介

8月8日から10日までの3日間、2025平和行動 in 長崎に参加させていただきました。初日の平和長崎集会では、被爆者の生の声を聞くことができましたが、高齢化が進み、いかに戦争のことを後世に伝えていくかという点においても平和行動は続けていかなければならないことと思いました。2日目はピースウォークに参加し、慰霊碑や平和公園を見学し、原爆資料館にも足を運びました。当日は大雨ということもあり、万灯流しは中止となってしまいましたが、長崎の歴史を直に学ぶことができ、改めて戦争は絶対に起こしてはいけないし、平和の大切さを子供たちへ伝えていかなければならないと思いました。

電力総連（東北電力労組）相馬 悠祐

今回の平和行動は自身2度目となりましたが、改めて平和の有り難みや当たり前ではないことを実感いたしました。この経験をもって自分にもできる平和に対する取り組みを組合として個人として考え取り組みたいと思います。その他、トラブルも少々ありましたが、メンバーの皆さんのおかげで楽しく乗り切ることができました。ありがとうございました！

連合山形 舘内 悟

戦後80年という節目の年に長崎行動で貴重な経験をさせていただきました。一瞬にして、人々の生活、尊い命をいとも簡単に奪った原爆。未だ核兵器を国家の安全保障、地域の安定性などとする国際社会、一日も早く核兵器の無い世界を実現するため、多くの人たちが平和行動に参加し、それを伝えていくことが重要であると感じました。

根室

9月5日（金）～9月8日（月）

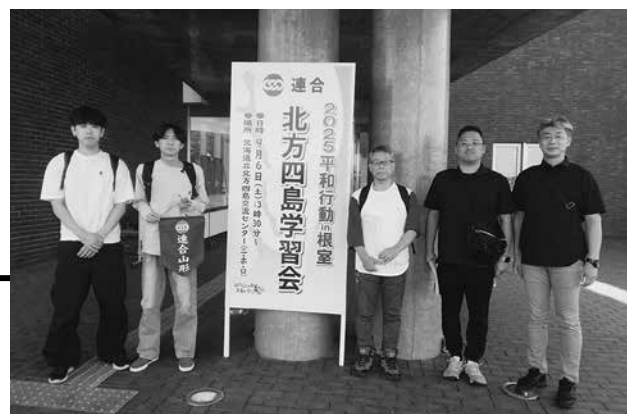
事務局含め5名参加

☆6日：北方四島学習会（「海から見た北方領土問題」講師 山田 吉彦氏）など

☆7日：平和ノサップ集会

交通労連（第一貨物労組）岡田 洋輔

2025平和行動 in 根室において納沙布岬での平和集会や、北方領土に関する学習会に参加させていただきました。



様変わりした生活などの話を元島民の方よりお聞きし、現在も返還が実現していない北方四島の問題を改めて深く考える機会になりました。こんなに近くにある故郷を奪われた元島民の皆さんが、一日でも早く故郷へ帰れるよう、北方領土返還につながる活動を継続していくことの重要性を強く感じた平和行動でした。

電力総連（東北電力労組）早坂 祐哉

私は、今回の根室での平和行動にて初めて北方領土問題にふれた。北方領土問題と聞くと、学校の授業やニュースで聞いたことがあるという程度で自分には、あまり馴染みのないものだと思っていたが講義が進むにつれ、単に領土の問題でとどまらず、安全保障にも関わる重要な課題であり、自分にも関係してくる問題であると認識することができた。

また島民の方々の話を聞き、これまで繋がれてきた80年の努力を絶やさず、一刻も早い問題解決に向けて活動を続けて行かなければならないと感じた。



情報労連（NTT労組山形分会）古川 和彦

近くて遠い日本固有の領土。天気も悪かったせいもあり、かすかになんとか見ることができました。戦後80年、元住民の方たちも徐々に年齢が増して、段々と記憶が薄れていく中、早期解決を望んでいる状況は、25年前に訪れた時と状況は全く変わっていません。私たちも引き続き、「根室の願い」の一刻も早い解決、戦争のない平和な世界・社会の実現に向け、訴え続けていかななくてはと改めて感じました。

情報労連（NTT労組山形分会）笹渡 源斗

平和行動に初めて参加しましたが、普段体験できないことや貴重なお話を聞けていい時間となりました。ロシアに占領されてから今までの思いを当事者から聞き胸が痛くなりました。反対に絶対に取り返すという強い意志も感じられ、若い世代が歴史を伝えていくべきだと思いました。

連合山形 佐藤 美和

「北方領土」問題は、自分とは関係なく、ただ言葉として聞くぐらいでした。今回参加する機会をいただき、元島民の話を聞き、肉眼でも見える地に立ち、胸が締め付けられる思いをしました。当時のソビエト軍が侵攻し故郷を追われ今年で80年。元島民の方の平均年齢が89歳となり、約17,000人強の元島民は今では5,000人にまで減少したそうです。日本固有の領土でもあり、すぐそこにある故郷を追われた元島民の想いを、若い世代でも語り継ぎ、早期一括返還が叶うように、運動を継続していかなければならないと強く感じました。

残高や入出金を
いつでも・どこでもスマホでチェック!

ろうきんアプリ

詳しくはこちらから

※システムメンテナンス等により一部ご利用いただけない場合があります。
※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードや利用時にかかる通信料はお客さまのご負担になります。

東北労働金庫 ☎0120-1919-62
<https://www.tohoku-rokin.or.jp> (受付時間:平日 午前9時~午後5時)

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop